長澤登山教室通信

No. 149
2023.02/15

冒頭の写真は、昨年登った裏筑波で撮ったハルトラノオです。地味で小さい花ですが、よく見ると愛らしい花ではありませんか。分類としてはタデ科の中のイブキトラノオ属になります。イブキトラノオとかクリンユキフデが同じ仲間です。

ところで「タデ」と言ったら「蓼食う虫も好き好き」ということわざがあります。ここで言う「蓼」とは、「ヤナギタデ」のことで、刺身に付いている紫色の双葉の、食べると辛いあれです。そんな辛い蓼を好んで食べる蓼虫がいるそうで、人の好みは様々であると言う意味で使われます。が、その言い回しにはネガティブな響きがあります。

そんな随分な言われようですが、実はソバもタデ科です。また子供の頃一度は口したことがあるスカンポもタデ科です。虫だけでなく、私たちも食料にしたり、薬の原料として口にしてきた歴史があります。そう思うと、人の好みを貶す意味で使われがちな「蓼食う虫も好き好き」と言う言葉が、人々の多様性を認める言葉のように思えませんか。そのようなポジティブな意味で使われるような世の中になってほしいと気持ちになります。
ちょっと地味なタデ科にまつわる話でした。

さて４月の確定表をお送りします。＜花旅シリーズ＞が最も楽しめる季節です。まずはヤマザクラのお花見山行です。筑波山の隣、宝篋山です。ヤマザクラが見頃でしょう。次は東京都青梅から埼玉県飯能へサクラ並木をハイキングし、最後はヤマザクラの一本桜で締めるたっぷりお花見ハイキングです。４月の高尾山はスミレの山です。お目当てはタカオスミレですが、たくさんのスミレに出会えるでしょう。一丁平の桜はまだ咲いているでしょうか。今年も裏筑波山行きます。ニリンソウの大群落にただ癒されに行きましょう。春の植物園巡りも楽しんでみましょう。日光植物園です。東大の附属植物園です。ちょうどアカヤシオやサクラ類が見頃ではないでしょうか。隣の日光田母沢御用邸記念公園に足を伸ばして、御用邸茶寮でお茶するのはどうでしょうか。連休前の最後は秩父の琴平丘陵のハイキングです。ちょうどヤマツツジが見頃です。最後は色鮮やかな芝桜を前景にした武甲山も中々の絶景です。このところの異様な暖かさで春の花の咲くタイミングがどうなるか少し心配しています。が、お目当ての花がちょっとハズレでも別の花が楽しめるのが春の良さです。

テレビをつけると、連日自民党の裏金問題です。彼らの言いぐさを耳にし、目にするたびにフツフツとした怒りが湧きます。のらりくらり、時には開き直りの恫喝的態度、そんなものが許されていいのでしょうか。日本国憲法の14条では「すべて国民は、法の下において平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と定めています。自民党議員の2/3が裏金や旧統一教会と関連していると報じられています。一般の国民であれば、例え数百円であろうと不正に取得すれば罰せられます。「バレてから、返します」は、許されないのが常識というものです。にもかかわらず、議員ともなれば、いくら裏金を作ろうとも使い道を明らかにしなくてもお咎めなしというのは、社会的身分又は門地による差別ではないですか。憲法に書いてあるだけでは、法は生きない。一人一人の全国民は参政権という権利を持っています。それを行使する大切な場の一つが、選挙です。ダメな議員には政治の場から退いてもらうには、選挙以外にありません。改めてそう思うこの頃です。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！